

JIC 国際親善交流センター設立 30 周年！

日常的な日露交流の拡大をめざし、さらに頑張ります！

1981 年 12 月に故・上田卓三会長によって JIC 国際親善交流センターが設立されてから 30 周年を迎えました。3 月 11 日の東日本大震災と福島原発事故に明け暮れた 2011 年、設立 30 周年を祝う気分にはとてもなれませんでした。それでもこの 30 年間の JIC の歩みを簡単に振り返っておきたいと思います。

設立後最初の 10 年間(1980 年代)は、米ソ冷戦という当時の厳しい国際関係のもとで、JIC は政治的な色彩の濃い日ソ交流活動を繰り広げました。冷え切った日ソ関係を打開するための政治対話の起動、セミナーやシンポジウムの開催、出版活動、極東での「青年交流の船」をはじめとする視察団の派遣などがこの時期の主要な活動でした。

1991 年にソ連邦が崩壊した後は、もっぱらロシア・旧ソ連諸国との市民交流の拡大に取り組みました。ロシア語留学とロシア旅行を柱として、長期・短期の留学生の派遣や日本語教師の派遣、ホームステイや個人旅行、視察・取材旅行など特徴のあるロシア旅行、また国内でのロシア語講座や交流イベントの開催、インフォメーションの発行などを行ってきました。

旅行業は人と人との交流を支える文化交流産業

私たちの活動目的は、日本人とロシア人がお互いに知り合い、理解しあう機会と場所を提供し、人と人との結びつきを様々な形で拡大することです。旅行分野では、ジェーアイシー旅行センターが、毎年、数千人のロシア訪問をサポートし、同様にロシアから日本への観光旅行のお手伝いをしています。観光旅行業は、もちろん経済活動の一つではありますが、本質的には人と人との交流を支える「文化交流産業」であると私たちは位置づけ、その発展に尽くしたいと考えています。

日ロ交流担う人材育成に貢献するロシア語留学事業

留学分野では、この 23 年間にモスクワやペテルブルグ、ウラジオストクに長期・短期合わせて 2000 名を超える留学生を送り出し、日ロ交流を担う人材育成に貢献してきました。不安定なロシア社会を反映して、ロシア留学には常にある程度の困難が付きまといますが、私たちは現地に連絡員を置き、可能な限りのサポート体制を整えてきました。今年は、これまで 20 数年間続けてきた JIC のロシア語留学の歴史と成果を書物としてまとめ、今後の参考に供する作業も進めたいと考えています。

コンサートなど文化交流活動にも取り組みます

2006 年から始まった「日ロ文化フェスティバル」の事業に JIC も協力していますが、今年は文化交流の分野でも JIC 独自の新しい取り組みを始めたいと企画をあたためています。具体的にはロシア民族舞踊団(歌、楽器演奏、ダンス)のコンサートを、各地で開催する計画で、準備を進めています。また、毎年秋に行っている「ロシア・セミナー」も引き続き毎回テーマを変えて継続する予定です。

ロシア・旧ソ連諸国に関心を持つ方や、何らかの関わりを持つ方々が自由に集い、情報交換をしたり協力しあったりできる場を作り出していくために、私たちはこれからも努力を続けます。

皆様のご協力とご参加をよろしくお願いいたします。



船場交流会①



船場交流会②